

# ワーク・ライフ・バランスのすすめ

## 事業主の方々に悩みを聞いてみました

- 
- 優秀な人材が、会社に定着しません。
  - 一人でも休むと、仕事を替わってやれる人がいません。
  - 残業続きで、賃金コストが高いのですが。
  - 新たに募集しても、人気ありません。
  - メンタルの病気になる人が増えました。
  - 新たな企画や製品がなかなか出てきません。

経済情勢が大変厳しくなっていますが、上記のような悩みを実際にお持ちの事業主の方々も多いのではないでしょうか。これらの問題を解決するのは、簡単なことではないでしょうが、ひとつのヒントとして、「ワーク・ライフ・バランス」の取組があげられます。

一般に「ワーク・ライフ・バランス」の実現は、企業に下記のようなメリットをもたらすといわれています。

- 
- 1 優秀な労働者が確保でき、定着します。
  - 2 労働者の会社への満足度が増し、仕事への意欲がアップします。
  - 3 労働者の創造性や、時間管理能力が上がり、多能化が促進されます。
  - 4 残業手当などのコストが削減されます。
  - 5 結果として、生産性、売上が向上することも考えられます。
  - 6 企業イメージや評価が高まります。
  - 7 労働者の心身の健康の保持増進が図られます。

# 仕事と生活の調和を目指す労働者に聞いてみました

育児や介護をする必要が生じた場合に、継続就労する上での問題点は何ですか？

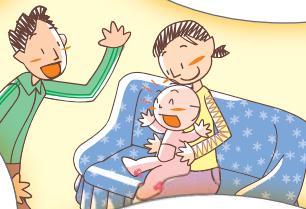
人員に余裕がないので、自分が長期に休んだ場合は、他の人に負担がかかってしまう。(30歳代女性)

長期間休むと、給与面の減額などがあって、収入減となり、経済的に苦しくなる。(30歳代男性、女性)

自分が長期に休んだ場合、自分の仕事を他の人にしてもらえるほど、仕事のマニュアル化が進んでいない。(40歳代男性)

休業後の職場復帰が休業前と同じ所属に配属してもらえるかが不安です。(50歳代女性)

私はまだ休暇の取得願いを出していないので、どのような返事がくるかわかりませんが、他の人からはあまりよい返事をもらったという話は聞きません。(40歳代女性)



時間外労働を少なくするために、会社に対して望むことは何ですか？

時間外に行うのが当たり前という職場風潮があるので、改善して欲しい。(30歳代男性)

社内において、定時退社が悪いような雰囲気になっている。(40歳代女性)

作業者自身が仕事中だらだらして所定時間内で終わらず、皆がその者に合わせて残業をしているので、作業者の意識啓発をして欲しい。(30歳代女性)

一つの仕事を複数の者が処理できるように、作業工程の共有化を図って欲しい。(30歳代男性)



仕事量の多い人、少ない人の差があるので、平均化して欲しい。(50歳代女性)

るべき仕事を明確にしたり、無駄な会議を減らして欲しい。(40歳代男性、30歳代女性)

労働者にとっても、育児や介護は避けて通れない問題であり、そのため企業に求める意見の内容は、切実なものがあります。

また、労働者自身の健康管理やスキルアップ、仕事以外での地域や家庭への貢献を行うための時間も必要です。

このようにワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)は、企業にとっても、労働者にとっても、「共存共栄」していく上で、重要なキーワードとなります。

ワークとライフのバランスを自分で選べる環境の実現、この取組は、企業にとっても優秀な労働者の定着や生産性の向上など様々なメリットがあるとともに、個人や家族の生活を豊かで幸せにするとともに、地域を活気づかせ、少子化の防止など、長期的な社会の活性化につながります。

そこで、千葉労働局仕事と生活の調和推進会議では、千葉県においても、労使団体、行政機関、有識者等が話し合い、経済界、労働界、千葉県が進めているワーク・ライフ・バランス「仕事と子育てが両立する働き方の実現」と協同して、仕事と生活の調和のとれた働き方を実現するために、次の3つのポイントについて取組を進めるよう提言します。

## 千葉労働局 仕事と生活の調和推進会議が 進める3つのポイント

I

労使の話し合いの  
機会の整備



II

年次有給休暇を  
取得しやすい環境整備



III

所定外労働時間の  
削減



千葉県の企業が働きやすくなれば、生活しやすい環境となり、働く人も、企業も、そして地域もきっと元気になるはずです。みんなでワーク・ライフ・バランスを始めてみませんか。

説明するよ、  
次のページを  
見てね。

